

令和2年度日本医師会医療情報システム協議会 つながれ、輝け 医療ICT

開催プログラム(3月6日・土曜)

※ プログラムは予告なく変更する場合がありますことをご了承ください。

14:00 開会挨拶 日本医師会会長 中川俊男

開会挨拶 運営委員会委員長・群馬県医師会会長 須藤英仁

14:10 **日医ICT戦略セッション**

①日本医師会における医療分野のICT化の取り組み 日本医師会常任理事 **長島公之**

15:00 オンライン診療の在り方と展望

- ①オンライン診療とは 医療情報システム開発センター理事長 山本隆一
- ②離島へき地のオンライン診療実証研究の報告

山口県立総合医療センターへき地医療支援部診療部長 原田昌範

- ③オンライン診療システムを活用した新型コロナウイルス感染症対策の実際 東京都医師会医療情報検討委員会委員長/土屋医院院長 **土屋淳郎**
- ④オンライン診療は日本の周産期医療を変える周産期領域におけるオンライン診療の 実証研究 日本産婦人科医会常務理事 **平田善康**
- ⑤医療というART(対面診療の芸術性)に役立つICTツール 国立精神・神経医療センター神経研究所部長 本田学
- 16:40 休憩
- 16:50 新たな感染症と共存するために必要なICTツール
 - ①今後のeラーニングシステムのあり方 日本医師会常任理事 羽鳥裕
 - ②新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS) 厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室政策企画官 佐藤康弘
 - ③新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS)

厚生労働省医政局地域医療計画課

(厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部医療班G-MISチーム) 佐藤拓也

④新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

厚生労働省新型コロナウイルスに関連した

感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部技術参与 三宅邦明

- ⑤新たな感染症と共存するために必要なICTツール(総括) 参議院議員 **自見はなこ**
- ⑥総合討論

開催プログラム(3月7日・日曜)

10:00 オンライン資格確認とそのインフラを活用した今後の医療

①オンライン資格確認等システムが稼働します

厚生労働省保険局医療介護連携政策課長 山下護

- ②これから導入する医療機関への解説 日本医師会ORCA管理機構部長 西川好信
- ③電子処方箋システムの構築について

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課薬事専門官 上田悠介

- ④PHR・特定保健指導システム 産業医科大学公衆衛生学教授 松田晋哉
- ⑤今後のPHRや電子カルテの情報のあり方

九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター長 **中島直樹**

- 12:00 「個人情報は誰のもの?」から医療情報の活用へ 東京大学名誉教授 樋口範雄
- 13:00 医療現場での夢のあるAI活用
 - ①AIの消化器内視鏡現場への応用について ただともひろ胃腸科肛門科理事長 **多田智裕**
 - ②AIによって変わる医療の未来 株式会社プレシジョン代表取締役社長 佐藤寿彦
 - ③「AI問診」は患者と向き合う時間を確保するツールである 東京都医師会理事 **目々澤肇**
 - ④AIホスピタル

慶應義塾大学医学部放射線科学教室(診断)教授/慶應病院副病院長 陣崎雅弘

- ⑤AI surgery:未来予測に基づきAIが医師の意思決定を支援する外科的治療 東京女子医科大学先端生命医科学研究所副所長 **村垣善浩**
- ⑥医療AIの具体的事例 大阪大学教授(医学部附属病院医療情報部部長)

/大学院医学系研究科医療情報学 松村泰志

⑦総合討論

15:20 次期担当県挨拶 埼玉県医師会会長 金井忠男

閉会挨拶 運営委員会委員会委員・群馬県医師会理事 服部徳昭